



ツルマメ 花言葉：山椒は小粒で(花は小さいがきれい)

四万十川ニュース Vol.110

中村河川国道事務所 平成28年9月26日

「相ノ沢川総合内水対策計画」を策定

平成26年6月の梅雨前線豪雨により、中筋川支川の相ノ沢川・楠島川沿川で、内水による家屋浸水被害が発生しました。この内水被害を受け、国土交通省・高知県・四万十市により「相ノ沢川総合内水対策協議会」を設立し内水対策の検討を重ね、8月22日(月)に開催した第4回協議会において「相ノ沢川総合内水対策計画」を策定しました。

今後は、概ね5年での内水対策効果発現を目指し、国土交通省・高知県・四万十市が連携しながら、ハード・ソフト対策が一体となった総合的な内水対策を実施していきます。

なお、詳しい内容は四万十市のホームページに掲載されています。

<http://www.city.shimanto.lg.jp/life/road/plan/index.html>



「四万十川の減災に係る取組方針」を策定



8月26日(金)に「第2回 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催し、今後概ね5年間で関係機関が実施する具体的な取組の方針を「四万十川の減災に係る取組方針」として取りまとめました。

ハード対策の主な取組として、具同・入田地区堤防拡幅事業や相ノ沢川総合内水対策計画に基づくハード対策を着実に進めること、ソフト対策の主な取組として、想定最大規模のハザードマップを作成・周知することなどが決定されました。

今回取りまとめられた取組を進め、四万十川で想定しうる大規模水害に対し「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指します。

なお、詳しい内容は中村河川国道事務所のホームページに掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/ema-gensai.html>

「四万十川・入田元池シンポジウム」が開催されました！！

四万十川のほとりにある入田地区で恒例の「四万十川・入田元池シンポジウム」が8月28日(日)に開催されました。環境保全や地域おこしがテーマの地元密着型のシンポジウムには、入田地区の方々だけでなく、様々な立場の人たち約40名が集まりました。

14回目となる今年は、「四万十川に負担をかけないものづくり」をキャッチフレーズに、新聞バッグや栗の加工品など様々な商品で世界的な展開を図っている(株)四万十ドラマの畦地履正氏が講師に招かれました。畦地氏は、地場産品の商品化にあたっては、高齢者の仕事になるような(年金+αで暮らしていけるような)地域の人がもうかる仕組みづくりが重要だとアドバイスしました。続く事業説明では、中村河川国道事務所から、国土交通省や高知県、NHKなどが提供する防災情報を紹介。大雨の時などにぜひ活用して、災害に備えてほしいと呼びかけました。



四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

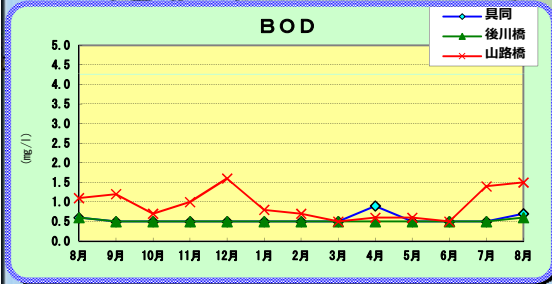
8月の四万十川の様子

四万十川の水質

具同観測所
(8月9日測定)

水温 **28.6℃**
 pH **7.7**
 BOD **0.7mg/l**
 SS **2mg/l**
 DO **8.4mg/l**
 大腸菌群数 **2187MPN/100ml**
 流量(日平均) **26.9m³/s**
 ※測定値は全て速報値です

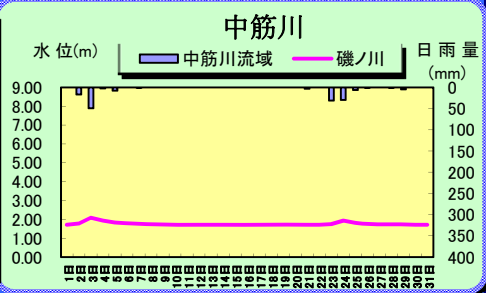
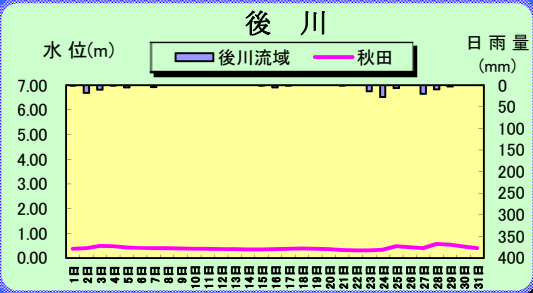
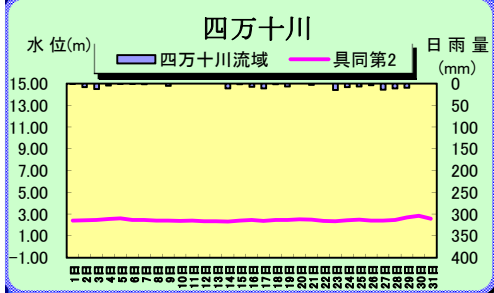
※測定値は全て速報値です



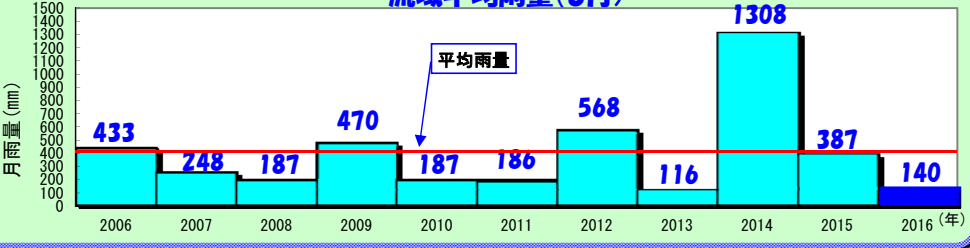
四万十川	1.0mg/l以下
後川	2.0mg/l以下
中筋川	3.0mg/l以下



雨量・水位データ



流域平均雨量(8月)



8月の四万十川流域平均雨量140mmは平年の3割程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は409mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

